

第80回登別市市民自治推進委員会 育み部会議事録

(敬称略)

開催日時	令和6年5月27日(月) 18時00分～
開催場所	アーニス 2階 あえる STATION
出席者	(部会長) 大熊龍也 (副部会長) 永瀧幸治 (部会員) 合田美津子、佐藤文子、大坂倫一、松山哲男、 神谷博達 (読書活動家) 河上邦子、藤原明日香、鎌田真理子 (庁内委員) 西川原邦彦、大越智輝 (事務局) 大内拓海、鳥海秀充、相馬杏
欠席者	(部会員) 仲川弘誓、磯田大治 (読書活動家) 松平孝子、武者正樹
議題	育み部会絵本コーナーについて
配布資料	・第80回「育み部会」資料(部会長作成)

※読書活動家の方々にもご参加いただき、育み部会絵本コーナーについて協議した。

○令和6年度育み部会の組織について

- ・令和6年4月を持って市民自治推進委員の任期が満了し、本日新体制での初めての部会のため、改めて部会員の紹介を行った。
- ・新体制について、部会長は引き続き大熊龍也氏を、副部会長に永瀧幸治氏を部会員の互選により選出した。

○会議の要点

1 本日の協議

(1) ①第26回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り

- ・第26回絵本コーナーの読み聞かせ担当団体は「EHO ボラ」。
- ・この日は、館内に人が少なく、子どもの姿がほとんど見えない日だった。
- ・新たな工夫として、プロジェクターを使った読み聞かせを行った。
- ・今後の活動の中で、来場者を増やすための工夫をより具体的に考えていかなければならないと感じた。
- ・絵本の取り組みの全体構想の中で、「絵本の講師～※部会資料を確認して」という記載があるが、今後もこの取り組みも進めて行かなければならないと思う。
- ・以前に各自治体の絵本の取り組みを視察して、公共施設でNPO法人が絵本の読み聞かせの養成講座をやっていた。その講座に参加していた研究員の方が、読み

聞かせは絵本の楽しみの他にお年寄りの認知症予防にも繋がるという話をしてきた。自分も絵本の読み聞かせ養成講座を実施してみたが、受講生が集まりにくい状況であった。この絵本コーナーでも養成講座を実施するなど、いろいろな角度から取り組む必要があるのではないかと感じた。

- ・地域サロンで高齢者の方に読み聞かせを行った。紙芝居等4冊ほど読み聞かせを行ったが反応が良く、読み手もやりがいがあった。子どもだけではなく、大人への活動もやりがいがあると思う。
- ・読み聞かせの養成講座や、読み聞かせの対象を広げるなど、今後の活動に取り組んで行くことも良いと思う。検討していきたい。

②第27回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り

- ・第27回絵本コーナーの読み聞かせ担当団体は「おはなしりぼん」。
- ・開催当日は、布で舞台を作り、人形を使った「あかずきん」の人形劇を行った。子どもたちの反応が非常に良かった。
- ・英語の絵本の読み聞かせも行った。
- ・読み聞かせをしている最中に、近くで話す声や、音を立てていると、子どもたちの気が散ってしまうので、しないほうが良いと読み手の中で話していた。
- ・カーテンを使ったカーテンシアターも今後実施していきたい。

③第28回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り

- ・第28回絵本コーナーの読み聞かせ担当団体は「パラテク」。
- ・アーニス館内で呼び込みを行い、この日は比較的に館内に子連れのお客さんが多くいた感じがした。
- ・読み聞かせの最後には、おりがみなどでお弁当の工作を行っていた。
- ・読み聞かせを担当する際に、毎回大型絵本を用意して読み聞かせを行っているが、子どもたちが飽きないように、間に手遊びやシルエットクイズなどを行うようにしている。
- ・読み聞かせの担当をして、自分たちの流れを掴んできたように感じている。
- ・嬉しいことに、知っているお子さん（リピーター）が絵本コーナーに来てくれている状況が続いているため、そこが楽しいところでもある。だが、新しい子が入って来にくい雰囲気にならないように気を付けたいと思っている。
- ・絵本コーナーを10:00から12:00まで開催しているが、読み聞かせ団体によって、終了時間がバラバラになってしまっても良いものなのか。
- ・12時ぐらいに片付けが完了するように読み聞かせや工作などを実施している団体もある。その団体によって多少終了時間が前後しても問題ないと思う。
- ・絵本の読み聞かせを沢山読みたいという思いもあるが、長すぎても飽きてしまうだろうと思い30分程度読み聞かせを行い、30分工作をするなどしている。

(2) 今後の予定

- ・次回、第29回ブックファームは6月15日（土）10:00～12:00。

(3) のびのび公園の利活用について

- ・公園の利用ルールの看板について、これまでの看板の表記では、ボールを使って遊んではいけないというように感じてしまう表現だったが、今年の3月に看板の表記内容が張り変わり「他の公園利用者や回りの住人に危険を及ぼす遊びはできません」というわかりやすい表現になった。
- ・公園でボールを使って遊ぶことができないのか、という問い合わせが市担当グループにあり、また、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、外で遊ぶ子どもが増えてきたこともあり、市内の全部の公園の看板表記が変わった。
- ・市担当グループから、ボールを使った遊びの他に、公園の利活用について、順次各地区で聞き取りを行っていくと聞いている。現在、公園の利活用について取り組みが進みつつあり、これまで育み部会で行っていた、公園の利活用の取り組みの成果が今回の表現の変化だったのではないかと思う。
- ・のびのび公園の利活用について、育み部会として活動していたが、成果が見えずもどかしい気持ちでいた。
- ・今回の看板の表記の変更を周知する必要があるかと思う。
- ・表記が変わって、次は遊び方の周知ということになると、育み部会を離れ、行政が行っていくことになるかと思われるため、利活用についての取り組みは、育み部会としては終了ということで良いかと思う。
- ・この取り組みについては、近隣の大学の教授や大学院生にご協力いただいた経緯がある。市内全体の公園の使い方について、一定の成果があったということで、育み部会としては、のびのび公園の取り組みは終了ということで良いかと思う。
- ・看板の表記の変更は大きな一歩だったと思う。
- ・ゴルフや野球のバッティングはやってはいけないという表記があるので、やってもよいものの具体例などがあっても良いかと思う。
- ・公園の利活用について、一定の成果があったということで、育み部会としての活動は終了とする。

2 その他 連絡等

○事務局より、4月23日に開催された市民自治推進委員会全体会議の概要について説明を行った。

- ・令和6年4月を持って市民自治推進委員の任期が満了し、新委員長・新副委員長を委員の互選により選出した。

新委員長 仲川 弘誓 氏 (育み部会)

新副委員長 川田 弘教 氏 (都市調和部会)

新副委員長 遠藤 潤 氏 (防災環境部会)

- ・現行の第3期基本計画の終了が令和7年度であることから、令和6年度から第4期基本計画期間中のまちづくりについて、市の提案する案や地域・団体での検討内容等を材料としながら、委員同士と市の職員で協議や意見の取りまとめを行う。

- ・アーニスに図書館本館を移転する提言（案）について、全体会議で意見交換を行った。地域の活性化につながる提言案であるという意見の他、課題点の整理や必要に応じて市民の意見を聴く機会を設けるなどの意見を付して、委員長が市民自治推進委員会としての意見を次回の中央地区まちづくり協議会で説明する予定である。

3 次回の育み部会について

日時：令和6年6月24日（月）18：00～（予定）

場所：アーニス2階 あえる STATION